

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	社会福祉法人 池田博愛会	代表者	理事長 中村 忠久	法人・ 事業所 の特徴	<ul style="list-style-type: none"> ・個人の状況把握を行い、状態に合わせた個別支援に取り組んでいます。 ・ご利用者やご家族の思いを大切に、今までの暮らしが継続できるように、家庭的な雰囲気与生活を支援しています。 ・季節の移り変わりを大きな窓から見る事が出来ます。又、季節ごとの行事や外出支援を行っています。
事業所名	小規模多機能ホーム 弥 生	管理者	久保 陽子		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	人	2人	1人	人	1人	1人	人	3人	1人	9人

項 目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	具体的に達成可能な計画になっているので可能な限り改善していく。	気づきや情報等に対し、些細なことでもスタッフで検討し、迅速に対応・改善している。	計画達成に向けて同じ思いで取り組むので自己評価は変わらないと思う。ご利用者やご家族との関わりが大切である。	業務における課題を見つけ、改善を図ることでサービスや環境を改善する。
B. 事業所のしつらえ・環境	地域の方がもっと気軽に事業所へ立ち入りやすい環境を整える。	面会の方や見学の方は常時受け入れている。	事業所の門や玄関には鍵はかかっていない。 出入りが自由と言う事ではないのか。	四季の移り変わりを感じていただけるように環境を整える。
C. 事業所と地域のかかわり	何かがあった時、緊急時の受け入れ等を可能にし、地域の拠点となるよう機能強化に努める。	基準内での登録がない方の緊急でのSS受け入れをしている。	法人主催行事が多くあり、事業所からも多く参加している。地域の方と接する機会になっている。	事業所から情報発信できるように地域の方や高齢者の方が参加できる行事を実施する。関係各機関の方にも参加して頂く。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	事業所から地域住民に情報提供を行い、より関わりを持って頂けるようにする。又、地域行事等へ出向いていく機会をより多く作る。	個別の出身の地域行事に合わせて本人の意向を確認し出来る限り参加している。	外出等に取り組んでいるので継続してほしい。	各地域の会に出向き事業所についての話をする機会を頂けるように外部への働きかけを行う。
E. 運営推進会議を活かした取組み	地域からの情報等を運営会議で協議し、地域に対する検討会を開催する。	地域に対する検討会は開催できていない。地域の情報等は意見を頂き協議している。	事業所での取り組み内容や、介護保険に関する情報や疑問点等は知る機会を得ている。	地域の情報を収集し、運営推進会議で検討する。出席者からの情報も検討する。
F. 事業所の防災・災害対策	防災避難訓練に、より多くの住民が参加して頂けるよう努める。	法人での総合防災訓練を実施し地域住民や関係機関の参加で取り組んでいる。	事業所の防災避難訓練は実施出来ているが参加したことはない。法人の総合防災訓練には参加している。	防災避難訓練に地域の住民の方が今以上に参加して頂けるように努める。

